

投影用

令和7年9月30日（火）
14：00～16：00

第21回地域計画の推進に向けたWEB意見交換会

「地域計画を推進するための 2つのブラッシュアップ」

地方考夢(こうむ)員®研究所代表
総務省地域力創造アドバイザー
(一社)全国農業会議所専門相談員

澤 畑 佳 夫

無断での録音
・転用・複写は
禁じます

地域計画の「ブラッシュアップ」とは！

◎市町村として公表した複数の地域計画を
「具現化するために行動をしていく」

1 「事業」のブラッシュアップ

(1) 地域農業の将来像の実現

(2) 目標地図の更新

2 「事務」のブラッシュアップ

1 事業のブラッシュアップ(磨く)

(1) 地域農業の「将来像」の具現化

- ①基盤整備 ②儲ける農業 ③ブランド化 ④販路拡大
⑤耕作者(入り作者含む)の発掘・育成 ⑥鳥獣被害対策 等

行政が中心となり、「様々な方(農業関係者以外も)を巻き込んで」動く！

地域の農業
・農地を守る



「地域」を守る



農村RMO(農村型地域
運営組織)の立ち上げ
も一つの手法

「地域のゴール」を考えるための座談会の様子

(茨城県那珂市額田地区 2023年11月)



(2020年11月)

- ・地権者
- ・耕作者
- ・新規就農者
- ・JA
- ・農業委員
- ・農地利用最適化推進員
- ・市農政課
- ・農委事務局

- ・自治会長
- ・地区まちづくり協議会長
- ・農林事務所六次産業化担当
- ・商工会議所
- ・農業大学の学生
- ・市都市計画課
- ・農林事務所農道・圃場整備担当



県立農業大学の学生

商工会議所の方

(2) 目標地図の更新

今年3月までに完成した地図
(現況地図が多いが)



集積・集約地図へ

農地中間管理事業を活用して！

**農業委員会が中心となり「農業関係者
(地権者も含む)」を対象に動く！**



認定農業者、自治会・集落営農組織・多
面的機能・中山間直払い・土地改良区
役員、JA、行政、農委事務局（委員も
含む）等による**実際の耕作者調べ**
（茨城県常陸太田市 令和六年二月）

2 事務のブラッシュアップ(改善する)

①農林水産関係の市町村職員数 (総務省:地方公共団体定員管理調査結果)

2004年 41,628人



18年後

2022年 29,708人

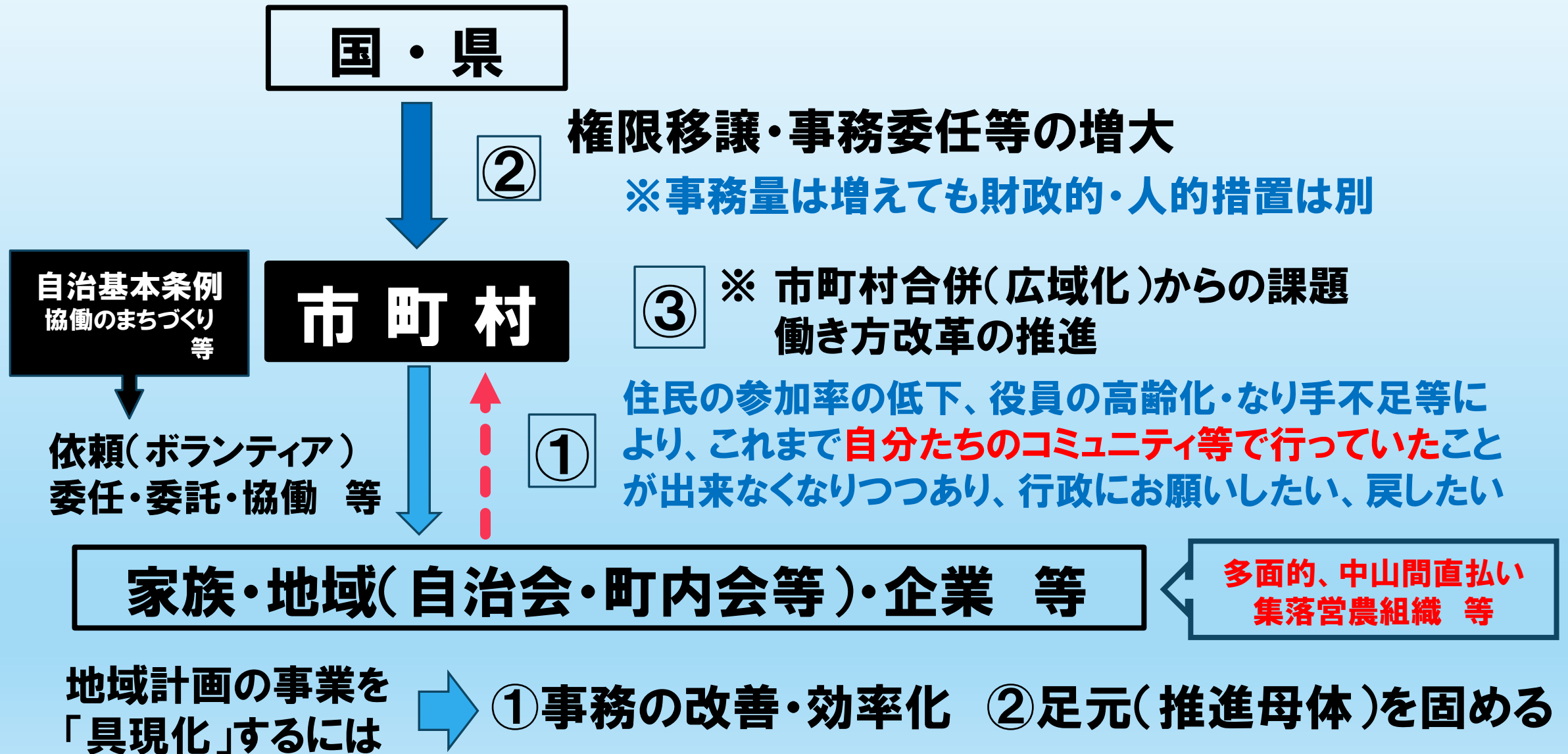
28.4%
の減少

②総務省「自治体戦略2040構想」研究会(2018/7)報告

2040年(15年後)には、報告時の50%の
公務員で行政を担う必要があると記述されている

最大の要因は ➡ 人口の減少

市町村の現状は・・・



「事業」を進めるためには 「事務」処理のやり方の見直しも

- ①白地を地域計画のエリア内とした市町村の状況は・・・**
- ②農地区分の照会
（特に太陽光発電業者：2種農地の確認）**
- ③地域計画のうち目標地図に位置付けられた者
に関する証明書の発行**